

## 2学期 始業式 ～意志あるところに道は拓ける～ (式辞)

いよいよ2学期が始まります。みなさんは、どんな夏休みを過ごしましたか。今年の夏は、連日のように36度を超え、熱中症警戒アラートも頻繁に出されました。本当に暑い夏でした。しかし、暑いのは、気温だけではありません。今年には4年に1度の、パリ・オリンピック・パラリンピックがあり、熱い熱い戦いが繰り広げられました。パラリンピックにおいては、今、真っ最中です。オリンピックの、日本の金メダル獲得数は20個で、アメリカ、中国について、第3位となりました。金メダル獲得に向けて、「勝った」「負けた」はあります。しかし、熱く感動するのは、決してメダルの数ではありません。結果にかかわらず、自己ベストに向けて挑んだ、それまでの過程の中に、あきらめずにチャレンジし続けた姿勢に、チームとして、心一つに一枚岩となって戦った姿勢に、見る人を感動させるものがあったかと思います。

みんなに助けられた金メダルで、この4人がいなかったら、この演技はできなかったし、やっぱり諦めなくてよかった。チームメートの声かけが、背中を押してくれた。「絶対諦めるなよ、いけるから」と声をかけられ、最後の鉄棒は、背中にみんなの思いを乗せて演技することができた。本当に幸せだった」 橋本選手のコメントより

2学期は、学校行事がたくさんあります。文化祭や体育大会、合唱コンクール…何事にも、最後まであきらめず、仲間と共に励ましあいながら、みんなで力を合わせて、心をつなげて頑張ってください。

『意志あるところに、道は拓ける』

その志が、自分たちの行動をひっぱっていくと思います。ともに、志をもって、みなさんと一緒に、素晴らしい2学期にしていけたらと思います。



写真 NHKニュース HP より引用

## 第66回 奈良県吹奏楽コンクール《金賞》おめでとう！

夏休みに入って、奈良県総合体育大会を始めとし、様々な大会やコンクールが催されました。それぞれの大会に参加した部活動では、自己ベストに向けて、チームのベストに向けて挑戦してくれたと思います。スポーツ大会や文化活動コンクールについては、努力が必ずしも結果に結びつかないこともあります。しかし、努力したことは、経験として、心の糧として必ず残るもので、その頑張りや取り組みは貴重な心の宝物となります。

今年の夏は、吹奏楽部が、第64回奈良県吹奏楽コンクールで見事、金賞に輝きました。8年間連続の金賞受賞だそうです。よく頑張りました。

曲名：『うつくしの島』 作曲者：広瀬 勇人  
指揮者：緒方 菜帆(顧問)

写真(右):大阪フォトサービス



第66回 奈良県吹奏楽コンクール  
令和6年8月2-6日 橿原文化会館

## 防災について考える

9月1日は、「防災の日」として制定されています。

1923年9月1日に、関東大震災が発生した時の惨事を忘れず、教訓として引き継ぐために制定されました。死者・行方不明者は、推定 10 万 5,000 人とされており、大規模な火災が3日間も続き、大津波にも襲われた未曾有の巨大地震でした。昨年は、関東大震災から100年の節目に当たる年で、各地で慰霊行事や催し物が行われました。



関東大震災 1923年

年の明けた2024年は、元旦早々に、能登半島の石川県を中心とした大きな地震がありました。津波が発生し、倒壊した家屋も多数確認され、火災に巻き込まれた人も数多くいました。亡くなった方は、300人を超えます。被害については、命こそ助かったものの、怪我や住宅の損壊、住宅の浸水等で、今も復興に向けての支援が続いています。



能登半島地震 2024年

そして、この夏、8月8日に日向灘を震源としたマグニチュード7の地震が発生しました。これにともない、「南海トラフ地震臨時情報」が、注意喚起のために全国的に出されています。橿原市の防災メールからも、呼びかけや備えについての注意喚起が出されています。

何もないことが一番なのですが、「備えあれば憂いなし」という言葉通りに、自分の命を自分で守らなければならない場面が突然やってくるかもしれません。防災の日を契機に、防災について考え、災害に備える機会にと感じています。

### 《 家庭の災害備蓄品リスト 10 の必需品 》 引用:NHK 防災 HP

- ① 水
- ② 食料
- ③ カセットコンロ
- ④ スニーカー・(手袋・タオル)
- ⑤ 充電式の掃除機
- ⑥ 携帯ラジオ
- ⑦ 懐中電灯(ヘッドライト)
- ⑧ 携帯トイレ
- ⑨ 水のいないシャンプー
- ⑩ スイーツ缶



### 《スペシャルのコーナー》白檀町連合自治会 夏祭りに参加して

#### 「打ち上げ花火 夏の終わりのハーモニー」

去る8月17日(土)と18日(日)に、白檀町連合自治会夏祭りが開催されました。最終日は夜空に広がる色とりどりの花火を見に、とても多くの方々が集われました。花火が打ち上がるたびに歓声や拍手がわき起こり、屋台の食べ物や浴衣を着た人々が楽しそうに過ごす夏祭りは、私にとっても大変いい思い出になりました。38秒の「花火ダイジェスト」動画を作成しました。



《YouTube》